

## 賃金

キーワード

年功賃金、賃金プロファイル

賃金には下方硬直性が存在している。

賃金プロファイル (p. 121 図 7-1、図 7-2)

国際比較 (p. 121 表 7-1) 諸外国と比較すると、賃金は大幅に上昇する。

歩合給による賃金決定モデル (p. 124 図 7-3)

歩合給と時間給の選択制 (p. 124 図 7-4)

→生産性の低い労働者は、時間給を提示した企業に就職する。

歩合給の問題点

①チーム生産にマイナス、②質の無視、③リスク回避的な労働者、④賃金引き下げの原因

賃金と生産性の関係、定年制の必要性 (p. 128 図 7-5)

賃金プレミアムとヘドニック理論

賃金よりも労働時間の柔軟性を求める労働者の存在。

労働者の無差別曲線 (p. 129 図 7-6) と企業の等利潤曲線 (p. 130 図 7-7)

賃金の決定方式

仕事給

①職種給：大陸欧州やイギリス。職種別労働市場

②職務給：アメリカ。職務分析、職務記述書、職務評価。

③職能給：日本。職務遂行能力

生活給思想 (電産型賃金)

賃金の成果主義化